

平成 28 年度 第 2 回 大槌町デイサービスセンターはまぎく運営推進会議報告書

開催日時	平成 29 年 2 月 23 日 2 月 21 日 (火) 14:00~14:50
開催場所	大槌町デイサービスセンターはまぎく
出席者	・利用者家族代表 1 名 ・地域住民代表 2 名 ・町職員 1 名 ・地域包括支援センター職員 1 名 ・事務局 3 名
【協議内容】 1. 活動状況報告 2. 利用者アンケートの結果報告について 3. その他 (事業所自己評価の報告)	
【活動状況報告】 (事務局より) ・新規利用者が増えているが、入院や不調による理由から利用予定回数より延べ 50~60 回欠席している。 ・介護度構成比率は要介護 1.2 が全体の半数以上を占めている。 ・レクリエーション活動の内容については、複数回利用者が活動内容を重複しないよう、飽きの来ないよう努めている (各月のレクリエーション活動記録を委員に閲覧してもらう)。 ・昨年 12 月に実施した、サービスの質の向上と改善のための利用者アンケートの結果について報告する。 ・来年度の課題として、地域住民も参加しての避難訓練や交流会を企画したい。	
【意見・評価】 (地域住民代表、利用者家族代表様より) ・レクリエーション活動の内容を見て、職員が一生懸命考えていることが窺がえる。現状を見ても、楽しみながらつられて体を動かすのは良いこと。 (地域住民代表者様より) ・アンケート調査は、事業所及び職員の課題や改善点が見えるので継続して欲しい。また、年度毎にデータ化して推移が分かるとサービス内容の良し悪しがわかりやすいのではないかと思う。 (利用者家族代表者様より) ・アンケート調査の対象者が、家族なのか当人なのかわかりにくい点があった。認知症を抱える利用者には答えられない内容であり、家族も回答に悩むので検討が必要だと思う。	
【その他】 (事務局より) ・事業所自己評価の結果について報告する。(別紙資料参照) ・地域密着型通所介護事業所で事業所内自己評価をしたのは初めてのことで、小規模多機能型で使用する評価項目を参照しているため、通所介護事業所には適さない内容等があった。しかし、各項目の自己評価を実施することで、意識していなかった課題等が表面化されたことは良い機会となった。	
【その他について意見】 (地域包括支援センター職員様より) ・今回の自己評価を行ったことで、在宅支援につながる支援を考える良いきっかけになったと思う。今後も、自己評価やサービス内容の見直しを図り、質の良いサービスを提供して欲しい。	

(町職員様より)

- ・避難訓練の実施状況を教えて欲しい。

(事務局)

- ・火災を想定した消防避難訓練を年2回実施している。来年度は、河川氾濫、土砂災害を想定した避難訓練を実施する予定である。

(地位住民代表者様より)

- ・施設付近の復興住宅地の自治組織は、まだ立ち上がったばかりなので、施設と協同した避難訓練の実施はまだできない状態であるが、近日、この地域の土砂災害危険区域3か所を地域住民と見て回る予定をしている。

(事務局)

- ・上記情報を受け、事業所職員も参加することとした。

(利用者家族代表者様より)

- ・介護施設のサービス内容が分からなかった。もっと早く利用することで、母の状態がもっと良い方向に変わっていたのではないかと感じた。